

横瀬の森林で枝打ち

電気工事工業組合

県内の電気工事業者で構成する県電気工事工業組合（沼尻芳治理事長）は、横瀬町芦ヶ久保の県農林公社営林地で、森林育成のための枝打ち作業を行った。

同組合は森林保護のため、2006年から年1回、同公社営林地で枝打ちボランティアを実施している。2日に行われた作業には、45歳以下の会員でつくる青年部会を中心に84人が参加。ヒノキの木にはしごを立てかけ、電柱に登っての

枝打ち作業を行う参加者（2日、県電気工事工業組合提供）



普段の作業と同様、安全ベルトを装着して1・8〜4メートルの高さの枝をノコギリで次々と切った。青年部会の高橋英之会長は「森づくり活動に積極的に参加し、地域社会に貢献したい」と話した。